

テーマ 30

鳥類によるごみ集積所損傷などの被害防止手法の検証（浜松市）

1. 解決したい課題の内容

・家庭から出されたごみ・資源物は、地域住民や自治会が定めた場所に設置されているごみ集積所に一時的に仮置きされ、ごみ収集車により回収されたのち、清掃事業所に運ばれるという流れを経て、焼却・処理される。

・浜松市内に点在しているごみ集積所は、地域住民や自治会において設置・変更・維持管理されており、一般的には屋外に設置されているため、ごみの飛散防止を目的とし、ネットを使用している。ネットで保護しているにも関わらず、鳥類（カラスなど）により、ごみの散乱やネットの損傷などの被害が恒常的に発生していることが課題となっている。

・浜松市では浜松地域鳥獣被害対策協議会において鳥獣被害防止計画を策定しているが、カラスに対しては管理する住民の高齢化や、ノウハウを持った人材が不足していることなどから、実効的な対策をとれていない。

・ごみ集積所以外でも、市内中山間地域に位置する天竜清掃事業所においては、近隣の山間部に生息するカラスが事業所内に頻繁に飛翔し、敷地内の芝生を剥がす、洗車場屋根部の断熱材を損傷させるなどの被害を受けており、芝生にテグスを張るといった簡易な対策は取っているものの、現状実効的な対策がとれていない。

2. 実現したい目標について

浜松市内におけるごみ集積所や清掃事業所などにおける鳥類による被害を低減させたい。

3. 必要とする技術について

以下を想定するがこれにこだわらない。

・音、光、形状変化など、鳥類の飛来防止と撃退に資する技術
・給電不要ないし再生可能エネルギーにて駆動する可搬な形状、重量の全天候対応な装置の開発・運用技術（市街地や屋外での使用を想定）

※周辺環境への影響がないよう配慮した提案が望ましい。

※装置の設置を想定する場合、装置は単独で運用可能であり、メンテナンスが容易なものが望ましい。

4. 想定する実証実験（内容・希望時期等）について

以下内容を想定するが、これにこだわらない。

・実証実験として、まず上記技術を用いたプロトタイプ等を清掃事業所の場内各所に設置し、カラスの撃退・飛来防止効果を検証する。

・清掃事業所内で効果が認められる場合、実証フィールドを市内集積所に広げ、鳥害が

著しい箇所へ試験的に導入し、効果を検証する。

※使用箇所は市内のごみ集積所、鳥害が著しい清掃事業場、市街地などを想定する。

5. 課題に関連する事業のホームページ URL

- ・浜松市鳥獣被害防止計画（令和4年度～6年度）

<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/documents/13465/4-6bousikeikaku.pdf>

- ・（参考）農研機構「鳥害対策」

https://www.naro.affrc.go.jp/org/narc/chougai/wildlife/howto_j.html